

課題踏破への3市独自の

研究企画の構築

〈建設経済常任委員会〉

1月10日～12日

建設経済常任委員会では、1月10日から12日に兵庫県朝来市の「農林業の振興」、京都府福知山市の「交通空白地有償運送」、兵庫県丹波篠山市の「鳥獣被害対策」の視察研修を行いました。

持続可能な農林業振興の取り組み

（兵庫県朝来市）

「朝来市住みたい田舎移住定住プロジェクト」により定住促進、新規就農者等の新たな担い手の確保に取り組みられています。新規就農者には認定農業者による個別指導を行うほか、林業においては、自伐型林業の推進にも積極的に、移住・定住の促進による農林業の担い手の多様化と育成が図られていました。

交通空白地有償運送

（京都府福知山市）

市内の交通空白地における有償運送を、地域で

災害の補償の対象となることや講習会費用の免除などのメリットがあるとのことでした。

また、獣害対策として「獣がい対策実践塾」を開催し、獣害対策の学習や放棄果樹園（柿）の有効活用、地域や市内外の学生と連携することで、関係人口の創出が図られていました。



丹波篠山市での研修

調査を終えて

視察先の3市とも本市

同様の課題がある中、市、民間団体、地域と連携した取り組みが行われていました。本市でも、広く情報を共有しながら課題解決につなげていきます。

（小山 和也）

市内3校の

公立小中学校を視察

〈総務文教常任委員会〉

1月17日

総務文教常任委員会では、1月17日に市内3校の公立小中学校の現地調査を行いました。

見崎中学校

（義務教育学校の開校に向けた建設予定地及び工事進捗状況を調査）

令和7年度の開校に向けた工事が進められています。視察時は増築のための擁壁（ようへき）工事が行われており、工事期間中の生徒の安全確保に努めているとのことでした。



新校舎の建設予定地

南中学校
（普通教室、通級学級教室環境等を調査）

ひとつの教室に41台の机が並び授業の様子を確認しました。タブレット端末などの教材が増え、生徒の体も大きくなる中で、何らかの改善の必要性を感じました。

また、令和6年度の新入生が2年生時に使う予定の教室には、エアコンが整備されていないため、設置を要求していくとのことでした。

岡山小学校

（普通教室、特別支援教室環境を調査）

毎年100名近くの新入生が入学しており、教室が不足するため、工作室を2つの普通教室に分ける改修工事が行われて

いました。

給食調理室では、児童数が増え、調理スペースを確保するために、牛乳用の冷蔵庫を廊下に移動されている現状を確認しました。

令和8年度には、児童数のさらなる増加により教室が不足することが想定されるため、教育委員会と対応を協議しているとのことでした。



工作室から普通教室へ改修

調査を終えて

児童生徒数の変動による教室及び教員の確保、校舎の老朽化対策が課題です。

学校施設の安全対策と教室環境の改善要望に引き続き取り組みます。

（古賀 邦彦）